

沖縄県経済動向

(令和5年1月－3月期)

令和5年6月 21 日
沖縄県企画部 企画調整課

沖縄県経済動向

景気は、緩やかに回復している。

※指標は、特記が無い限り令和5年1月－3月期とする。

※本資料において、「前年比」は前年同期あるいは前年同月からの増減比とする。

※本頁において、「+、△」は前年同期あるいは前期からの増減とする。

【観光】

- 入域観光客数は、8期連続で前年同期を上回った。国内客は、2月では過去最多を記録した。また、外国客は、3期連続で前年同期から皆増となり、堅調に推移している。

(総数 +131.4%、国内客 +112.8%、外国客 皆増)

- 主要ホテルの客室稼働率及び観光施設入場者数は、5期連続で前年同期を上回っている。

(客室稼働率 64.3%、+34.1pt)

【個人消費】

- 百貨店・スーパー販売額は、既存店、全店舗ともに、前年同期を上回っている。

(販売額 既存店 +8.3%、全店舗 +10.7%)

- 自動車(新車)の販売台数は、総台数、軽自動車ともに、前年同期を上回っている。

(総台数 +30.3%、軽自動車 +18.5%)

【建設関連】

- 住宅は、着工戸数、着工床面積ともに、前年同期を上回っている。

非居住建築物は、着工床面積、工事費ともに、前年同期を下回っている。

(住宅着工戸数 +15.3%、非居住建築物工事費 △27.8%)

- 公共工事は、保証件数、請負額ともに、前年同期を上回っている。

(公共工事保証件数 +11.0%、請負額 +46.3%)

【雇用情勢】

- 完全失業率は、前年同期より改善している。(完全失業率 3.5%(原数値)、0.3pt 改善)

- 有効求人倍率は、前期を上回っている。(有効求人倍率 1.13 倍、+0.04pt)

【物価】

- 消費者物価指数は、6期連続で前年同期を上回っている。

(消費者物価指数(総合) +3.3pt)

- レギュラーガソリン小売価格は、8期ぶりに前年同期を下回っている。

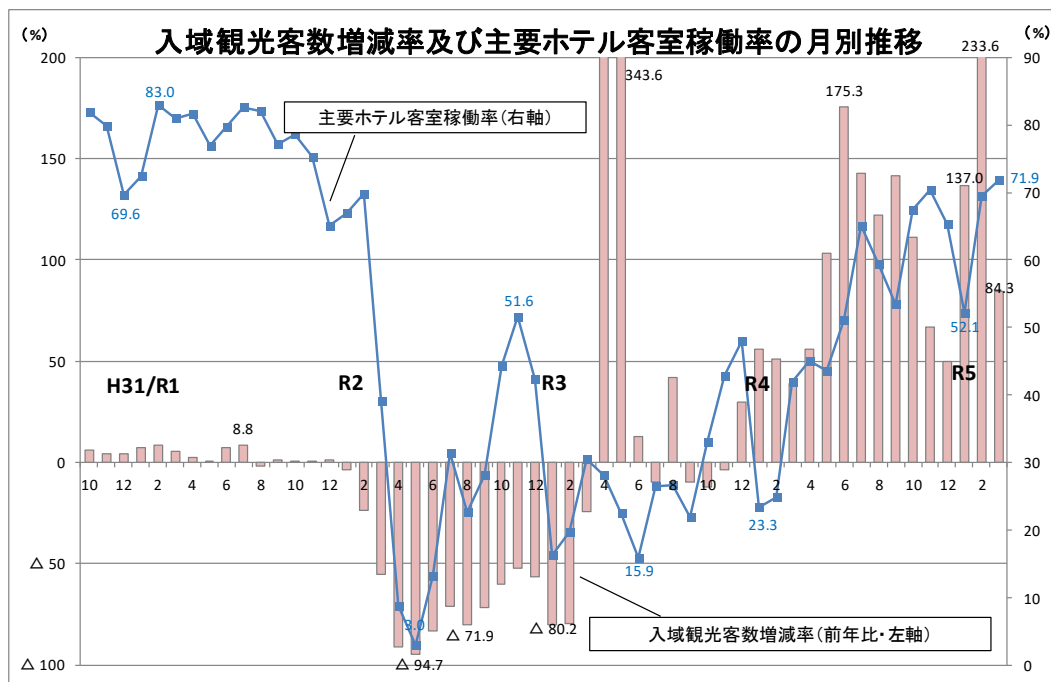
(レギュラーガソリン小売価格 △3 円)

以上のように、観光関連が好調に推移していることや、個人消費、雇用情勢における持ち直しの動きが強まっていることから、「景気は、緩やかに回復している。」(前回から上方修正)とした。

なお、先行きについては、各種政策の効果もあって、景気の回復が続くことが期待されるが、人手不足や物価上昇、金融資本市場の変動等が県経済に及ぼす影響に十分注意する必要がある。

① 観光

- 入域観光客数は、コロナ感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援が継続したこと、国際線の増便や国際クルーズの再開などにより増加し、8期連続で前年同期を上回った。2月の国内客は、過去最多を記録した。また、外国客は、3期連続で皆増となり、堅調に推移している。
- 主要ホテルの客室稼働率及び観光施設入場者数は、コロナ前の水準は下回っているものの、5期連続で前年同期を上回っている。

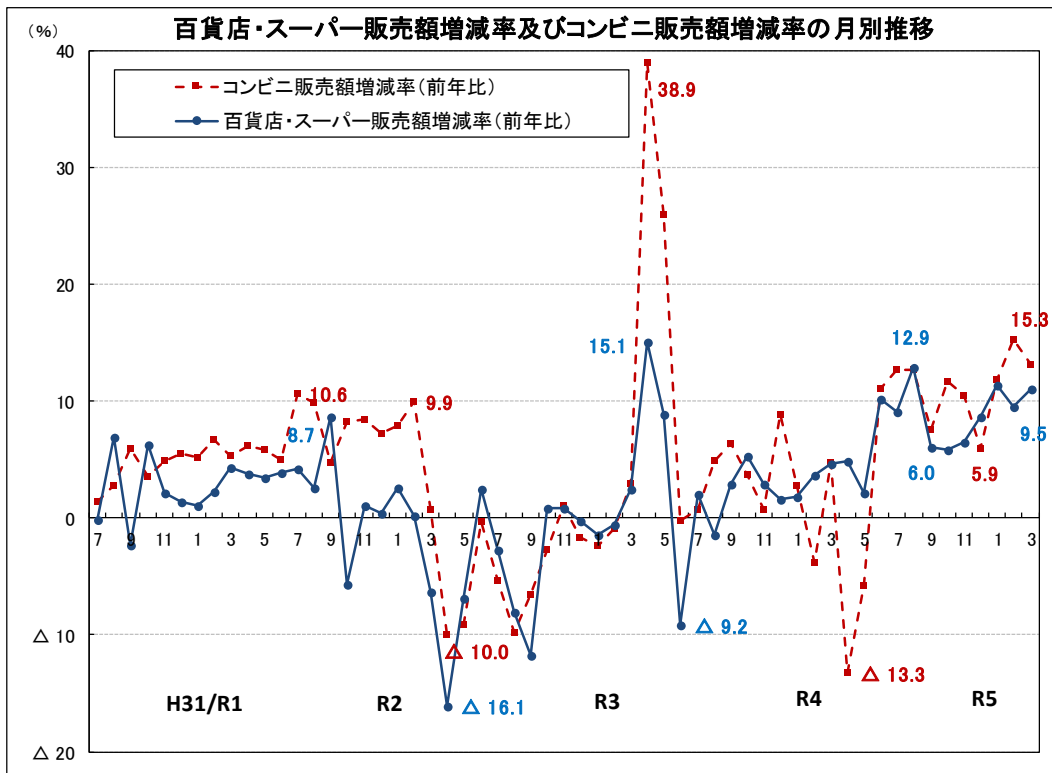


	入域観光客数						主要ホテル客室稼働率		観光施設入場者数
	総数		国内客		外国客		(%)	前年差 ^{※1}	前年比(%)
	(百人)	前年比	(百人)	前年比	(百人)	前年比			
(参考)H31.1-3月	24,097	7.0	17,132	3.6	6,965	16.2	78.6	△ 1.5	1.2
(参考)R2.1-3月	17,150	△ 28.8	14,581	△ 14.9	2,569	△ 63.1	58.4	△ 20.2	△ 40.0
(参考)R3.1-3月	5,620	△ 67.2	5,620	△ 61.5	0	△ 100.0	22.2	△ 36.2	△ 64.7
R4.1-3月	8,195	45.8	8,195	45.8	0	0.0	30.2	8.0	13.2
4-6月	12,543	102.1	12,543	102.1	0	0.0	46.5	24.4	131.4
7-9月	17,433	134.5	17,432	134.5	1	(皆増)	59.4	34.4	854.8
10-12月	18,807	72.4	18,331	68.1	476	(皆増)	67.6	26.4	97.8
R5.1-3月	18,963	131.4	17,439	112.8	1,524	(皆増)	64.3	34.1	190.2
R4.1月	2,246	56.0	2,246	56.0	0	0.0	23.3	7.0	9.0
2月	1,792	50.8	1,792	50.8	0	0.0	24.8	5.1	△ 6.9
3月	4,157	38.9	4,157	38.9	0	0.0	41.9	11.4	16.1
4月	4,090	55.8	4,090	55.8	0	0.0	45.0	16.9	43.1
5月	3,968	103.3	3,968	103.3	0	0.0	43.5	21.1	100.3
6月	4,485	175.3	4,485	175.3	0	0.0	51.1	35.2	706.4
7月	6,078	142.7	6,078	142.7	0	0.0	65.1	38.7	553.7
8月	6,408	122.3	6,407	122.3	1	(皆増)	59.5	32.8	1167.0
9月	4,947	141.4	4,947	141.4	0	0.0	53.4	31.5	1123.9
10月	6,307	110.9	6,280	110.0	27	(皆増)	67.4	34.4	160.3
11月	6,150	67.1	6,029	63.8	121	(皆増)	70.3	27.4	93.8
12月	6,350	49.9	6,022	42.2	328	(皆増)	65.2	17.3	62.2
R5.1月	5,322	137.0	4,874	117.0	448	(皆増)	52.1	28.8	203.7
2月	5,979	233.6	5,545	209.4	434	(皆増)	69.5	44.7	317.5
3月	7,662	84.3	7,020	68.9	642	(皆増)	71.9	30.0	131.9

※1: 本資料において、「前年差」については四半期指標が「前年同期差」、月次指標が「前年同月差」である。

② 個人消費

- 百貨店・スーパー、コンビニ販売額は、前年同期を上回っている。
- 家電製品販売額は、前年同期を下回っている。
- 自動車販売(新車)台数は、前年同期を上回っている。
- 家計消費支出は、前年同期を下回っている。



	百貨店・スーパー販売額(前年比)		コンビニ販売額	家電製品販売額	自動車販売(新車)				家計消費支出※1(名目)		実収入(名目)	
	既存店	全店舗	前年比	前年比	総台数		うち軽自動車		(円)	前年比	(円)	前年比
					(台)	前年比	(台)	前年比				
(参考)H31.1-3月	1.0	2.6	5.7	1.2	14,284	2.9	7,350	1.4	213,732	0.0	366,816	22.3
(参考)R2.1-3月	△ 5.2	△ 1.3	6.0	△ 4.3	13,030	△ 8.8	6,326	△ 13.9	200,436	△ 6.2	317,893	△ 13.3
(参考)R3.1-3月	△ 2.2	0.1	△ 0.2	28.2	12,557	△ 3.6	7,439	17.6	225,044	12.3	394,752	24.2
R4.1-3月	1.5	3.4	1.3	10.8	9,882	△ 21.3	5,182	△ 30.3	236,193	5.0	352,466	△ 10.7
4-6月	4.8	5.6	△ 3.6	0.5	8,875	△ 4.3	4,287	△ 24.4	212,269	△ 6.4	431,948	△ 12.8
7-9月	6.9	9.4	11.1	△ 5.0	10,827	9.5	5,074	0.4	229,653	8.7	456,727	18.7
10-12月	4.9	7.1	9.3	△ 0.2	10,200	19.5	5,654	19.3	225,832	△ 2.4	525,985	12.8
R5.1-3月	8.3	10.7	13.4	△ 3.3	12,875	30.3	6,143	18.5	234,224	△ 0.8	398,483	13.1
R4.1月	△ 0.1	1.8	2.8	16.6	2,687	△ 22.7	1,609	△ 24.6	251,462	20.5	315,672	△ 10.4
2月	1.9	3.7	△ 3.8	24.9	2,833	△ 24.4	1,560	△ 30.1	216,758	9.3	397,590	△ 11.1
3月	2.8	4.6	4.7	△ 1.7	4,362	△ 18.2	2,013	△ 34.5	240,359	△ 10.3	344,137	△ 10.5
4月	4.8	4.8	△ 13.3	5.4	3,452	9.9	1,611	△ 17.1	223,834	△ 8.6	416,902	△ 7.1
5月	1.5	2.1	△ 5.8	△ 14.5	1,948	△ 30.8	1,134	△ 39.4	207,186	△ 10.3	378,923	0.9
6月	8.5	10.2	11.0	12.6	3,475	4.7	1,542	△ 17.0	205,787	0.5	500,018	△ 24.5
7月	6.7	9.1	12.7	△ 1.7	4,645	7.6	1,787	△ 9.2	238,018	11.2	551,094	16.5
8月	10.1	12.9	12.7	△ 5.2	2,786	△ 7.0	1,356	△ 13.7	264,886	26.2	465,886	23.1
9月	3.6	6.0	7.6	△ 8.5	3,396	31.9	1,931	27.5	186,056	△ 11.4	353,201	16.6
10月	3.5	5.8	11.7	△ 1.8	3,118	21.7	1,846	33.2	214,183	△ 5.0	410,232	13.8
11月	4.3	6.5	10.5	0.0	3,426	11.4	2,017	20.3	209,256	0.1	354,509	4.8
12月	6.5	8.7	5.9	1.0	3,656	26.0	1,791	6.8	254,058	△ 2.2	813,215	16.1
R5.1月	9.0	11.4	11.8	△ 3.6	3,567	32.8	1,950	21.2	238,650	△ 5.1	371,769	17.8
2月	7.1	9.5	15.3	△ 5.0	4,133	45.9	2,040	30.8	210,388	△ 2.9	428,140	7.7
3月	8.6	11.0	13.1	△ 1.7	5,175	18.6	2,153	7.0	253,634	5.5	395,541	14.9

※1: 家計消費支出は二人以上の世帯、実収入は二人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値

③ 建設関連

- 住宅は、着工戸数、着工床面積ともに、前年同期を上回っている。
- 非居住建築物は、着工床面積、工事費ともに、前年同期を下回っている。

	住宅着工				非居住建築物			
	戸数	前年比	面積(m ²)	前年比	面積(m ²)	前年比	工事費(百万円)	前年比
(参考)H31.1-3月	3,503	△ 14.7	261,379	△ 5.1	148,793	△ 19.1	42,225	△ 14.9
(参考)R2.1-3月	2,648	△ 24.4	208,889	△ 20.1	159,617	7.3	43,762	3.6
(参考)R3.1-3月	2,280	△ 13.9	176,969	△ 15.3	260,162	63.0	98,134	124.2
R4.1-3月	1,927	△ 15.5	175,180	△ 1.0	182,712	△ 29.8	42,260	△ 56.9
4-6月	2,561	5.9	219,840	13.8	163,891	4.8	51,663	△ 14.5
7-9月	2,239	△ 5.0	194,841	1.3	125,385	6.6	44,150	63.4
10-12月	2,452	△ 9.5	206,561	△ 9.4	230,039	0.6	78,944	21.9
R5.1-3月	2,222	15.3	185,544	5.9	85,965	△ 53.0	30,496	△ 27.8
R4.1月	633	△ 20.7	51,667	△ 14.2	70,059	20.9	11,449	△ 31.7
2月	542	△ 27.8	54,520	△ 7.9	26,939	△ 56.0	7,349	△ 70.1
3月	752	2.9	68,993	20.0	85,714	△ 39.2	23,462	△ 58.7
4月	980	7.3	80,065	12.1	48,574	△ 34.0	17,792	△ 32.5
5月	835	12.2	74,346	23.0	58,867	135.5	22,804	322.2
6月	746	△ 2.0	65,429	6.8	56,450	△ 2.5	11,067	△ 61.4
7月	731	△ 18.9	63,739	△ 12.0	28,893	△ 44.1	7,080	△ 30.9
8月	810	8.9	69,119	14.3	43,481	13.9	12,301	16.7
9月	698	△ 2.1	61,983	4.4	53,011	90.8	24,769	297.4
10月	648	△ 27.8	54,848	△ 20.5	85,638	△ 33.4	27,079	△ 26.5
11月	777	△ 11.9	70,642	△ 6.1	93,572	88.2	34,091	113.0
12月	1,027	10.3	81,071	△ 3.3	50,829	0.6	17,774	49.1
R5.1月	895	41.4	72,687	40.7	21,907	△ 68.7	6,444	△ 43.7
2月	657	21.2	54,065	△ 0.8	44,973	66.9	19,290	162.5
3月	670	△ 10.9	58,792	△ 14.8	19,085	△ 77.7	4,763	△ 79.7

	公共工事保証請負額・件数				建設資材価格 (那覇, H27=100)
	件数	前年比	額(百万円)	前年比	
(参考)H31.1-3月	576	△ 1.0	83,194	△ 37.8	106.4
(参考)R2.1-3月	582	1.0	65,429	△ 21.4	107.1
(参考)R3.1-3月	554	△ 4.8	65,884	0.7	111.5
R4.1-3月	536	△ 3.2	106,202	61.2	126.5
4-6月	553	△ 13.1	80,556	3.3	134.3
7-9月	1,028	△ 7.7	95,581	△ 28.6	135.9
10-12月	744	△ 6.9	58,012	△ 13.0	138.7
R5.1-3月	595	11.0	155,400	46.3	144.8
R4.1月	169	△ 11.5	26,815	64.1	125.7
2月	137	1.5	24,548	58.9	125.8
3月	230	0.9	54,839	60.8	127.9
4月	146	△ 20.7	16,593	△ 41.5	131.9
5月	157	△ 19.5	13,732	△ 51.1	135.1
6月	250	△ 2.7	50,231	132.5	135.8
7月	333	△ 7.0	26,405	△ 40.6	135.9
8月	324	△ 11.2	39,829	12.0	135.6
9月	371	△ 5.1	29,347	△ 45.5	136.2
10月	309	△ 8.8	29,678	11.1	136.4
11月	238	△ 9.5	17,120	△ 22.1	136.5
12月	197	0.0	11,214	△ 37.6	143.3
R5.1月	152	△ 10.1	11,114	△ 58.6	143.3
2月	171	24.8	59,359	141.8	143.3
3月	272	18.3	84,927	54.9	147.8

④ 雇用情勢

- 前年同期より、労働力人口は4千人、就業者数は7千人の増加となっている。
- 完全失業者数は、27千人となった。完全失業率(原数値)は3.5%と前年同期から0.3ポイント改善した。
- 有効求人倍率(季調値)は、1.13倍と前期、前年同期を上回った。

	労働力人口		就業者数		完全失業者数		完全失業率(原数値)		完全失業率(季調値)	
	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(%)	前年差	(%)	前年差
(参考)H31.1-3月	749	17	729	23	19	△7	2.6	△0.9	2.7	△0.7
(参考)R2.1-3月	760	11	737	8	23	4	3.0	0.4	3.2	0.5
(参考)R3.1-3月	758	△2	728	△9	29	6	3.9	0.9	3.9	0.3
R4.1-3月	779	21	749	21	29	0	3.8	△0.1	3.7	0.4
4-6月	767	13	745	19	21	△7	2.8	△1.0	2.8	△0.9
7-9月	758	2	732	5	26	△3	3.5	△0.4	3.3	0.5
10-12月	779	17	755	17	24	1	3.0	△0.1	3.3	0.0
R5.1-3月	783	4	756	7	27	△2	3.5	△0.3	3.4	0.1
R4.1月	789	32	759	29	30	3	3.8	0.2	3.8	0.1
2月	773	8	741	4	32	4	4.1	0.4	4.0	0.2
3月	774	23	748	30	26	△7	3.4	△1.0	3.2	△0.8
4月	779	16	757	22	22	△6	2.8	△0.9	2.9	△0.3
5月	760	9	739	15	21	△6	2.8	△0.8	2.9	0.0
6月	761	13	739	21	21	△9	2.8	△1.2	2.7	△0.2
7月	743	△9	714	△6	29	△3	3.9	△0.4	3.6	0.9
8月	754	△5	728	△2	26	△2	3.4	△0.3	3.3	△0.3
9月	778	21	754	24	24	△3	3.1	△0.5	3.0	△0.3
10月	772	24	753	26	19	△1	2.5	△0.2	2.7	△0.3
11月	773	9	749	9	24	0	3.1	0.0	3.5	0.8
12月	792	18	764	16	28	2	3.5	0.1	3.6	0.1
R5.1月	787	△2	766	7	22	△8	2.8	△1.0	2.8	△0.8
2月	781	8	753	12	28	△4	3.6	△0.5	3.5	0.7
3月	781	7	749	1	32	6	4.1	0.7	3.9	0.4

	有効求職者数(季調値)		有効求人数(季調値)		有効求人倍率(季調値)		正社員有効求人倍率(原数値)		現金給与総額指数※1	
	(人)	前期差	(人)	前期差	(倍)	前期差	(倍)	前期差	(R2=100)	前期差
(参考)H31.1-3月	25,241	442	30,444	1,095	1.21	0.02	0.55	0.04	90.2	0.2
(参考)R2.1-3月	26,102	327	30,561	△3,944	1.17	△0.17	0.63	0.08	92.3	2.1
(参考)R3.1-3月	30,134	113	23,096	709	0.77	0.02	0.46	△0.17	86.6	△5.7
R4.1-3月	32,377	777	27,623	1,663	0.85	0.03	0.52	0.06	85.3	△1.3
4-6月	31,981	△396	30,184	2,561	0.94	0.09	0.53	0.08	103.3	2.2
7-9月	31,213	△768	31,813	1,629	1.02	0.08	0.59	0.09	92.9	0.4
10-12月	30,266	△947	32,959	1,146	1.09	0.07	0.70	0.17	112.2	△0.1
R5.1-3月	29,571	△695	33,407	448	1.13	0.04	0.68	0.16	85.0	△0.3
R4.1月	32,037	549	27,262	1,034	0.86	0.03	0.55	0.05	83.0	△5.4
2月	32,357	320	27,771	509	0.87	0.01	0.51	0.06	83.0	△0.4
3月	32,737	380	27,836	65	0.88	0.01	0.49	0.05	89.9	1.9
4月	32,284	△453	29,567	1,731	0.92	0.04	0.50	0.07	88.5	1.7
5月	32,023	△261	30,069	502	0.94	0.02	0.52	0.07	85.9	0.9
6月	31,637	△386	30,916	847	0.98	0.04	0.56	0.08	135.4	3.9
7月	31,560	△77	31,378	462	0.99	0.01	0.57	0.07	100.3	△0.1
8月	31,142	△418	31,846	468	1.02	0.03	0.60	0.11	91.7	△1.0
9月	30,937	△205	32,215	369	1.04	0.02	0.61	0.11	86.6	2.2
10月	30,649	△288	32,739	524	1.07	0.03	0.65	0.15	87.2	1.3
11月	30,101	△548	33,038	299	1.10	0.03	0.71	0.18	89.1	0.6
12月	30,047	△54	33,100	62	1.10	0.00	0.73	0.16	160.4	△2.1
R5.1月	30,153	106	34,107	1,007	1.13	0.03	0.72	0.17	84.6	1.6
2月	29,739	△414	33,386	△721	1.12	△0.01	0.67	0.16	83.4	0.4
3月	28,820	△919	32,729	△657	1.14	0.02	0.65	0.16	87.0	△2.9

※1: 現金給与総額は事業所規模5人以上の値。

⑤ 物価

- 消費者物価指数は、6期連続で前年同期を上回っている。また、レギュラーガソリン小売価格については、上昇傾向にあったが、8期ぶりに前年同期を下回っている。

	消費者物価指数(R2=100)				レギュラーガソリン小売価格			
	総合	前年比	前月比	総合(生鮮除く)	食料	(円/ℓ)	前年差	前期差
(参考)H31.1-3月	101.9	0.4	△ 0.4	101.8	103.9	149.1	△ 2	△ 12
(参考)R2.1-3月	100.1	△ 1.8	△ 0.3	100.4	99.1	156.5	7	2
(参考)R3.1-3月	100.1	0.0	0.2	100.3	99.2	147.0	△ 10	6
R4.1-3月	100.9	0.8	0.5	100.9	102.0	174.7	28	4
4-6月	102.2	2.9	1.3	102.0	104.5	179.6	24	5
7-9月	103.4	3.4	1.2	102.9	106.7	182.0	19	2
10-12月	104.5	4.1	1.1	104.0	109.9	175.3	5	△ 7
R5.1-3月	104.2	3.3	△ 0.3	104.1	111.1	171.9	△ 3	△ 3
R4.1月	100.6	0.4	0.1	100.6	102.0	169.7	26	△ 4
2月	100.9	0.9	0.3	100.9	101.9	175.6	28	6
3月	101.3	1.2	0.4	101.3	102.2	178.7	29	3
4月	101.9	2.9	0.6	101.9	103.5	179.2	25	1
5月	102.2	2.9	0.3	102.0	104.4	179.1	24	0
6月	102.5	2.9	0.3	102.1	105.5	180.6	24	2
7月	103.0	3.1	0.5	102.7	105.5	184.5	23	4
8月	103.3	3.4	0.3	102.8	106.3	182.0	17	△ 3
9月	103.8	3.6	0.5	103.1	108.3	179.6	17	△ 2
10月	104.6	4.3	0.7	103.9	110.1	178.0	13	△ 2
11月	104.6	4.2	0.0	104.1	110.2	174.1	1	△ 4
12月	104.2	3.7	△ 0.4	104.0	109.4	173.7	0	0
R5.1月	104.6	4.0	0.4	104.4	110.8	173.2	4	△ 1
2月	103.7	2.8	△ 0.9	103.5	110.9	171.7	△ 4	△ 2
3月	104.4	3.1	0.7	104.3	111.6	170.7	△ 8	△ 1

⑥ 金融

- 実質預金・貸出金は、前年同期を上回っている。その他、貸出金利(地元3行)は、緩やかに低下している。

	預金・貸出金残高(県内6行庫計)					地方銀行貸出約定平均金利	
	実質預金(A)		貸出金(B)		比率※1 (B/A)	全国(%)	沖縄(地元3行貸出 約定平均金利) 月末水準(%)
	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)			
(参考)H31.1-3月	49,141	3.4	39,537	6.2	0.80	0.934	1.483
(参考)R2.1-3月	50,358	2.5	40,765	3.1	0.81	0.886	1.458
(参考)R3.1-3月	56,384	12.0	42,585	4.5	0.76	0.852	1.386
R4.1-3月	58,716	4.1	43,068	1.1	0.73	0.822	1.352
4-6月	60,769	4.5	42,963	0.8	0.71	0.814	1.342
7-9月	60,532	4.8	43,305	0.9	0.72	0.808	1.336
10-12月	60,609	3.9	43,443	0.6	0.72	0.802	1.332
R5.1-3月	60,834	3.6	43,907	1.9	0.72	0.803	1.324
R4.1月	58,275	4.2	42,787	1.7	0.73	0.826	1.357
2月	58,247	3.5	42,814	1.1	0.74	0.823	1.355
3月	58,716	4.1	43,068	1.1	0.73	0.822	1.352
4月	60,284	4.5	42,714	0.5	0.71	0.819	1.353
5月	60,183	3.9	42,954	0.9	0.71	0.815	1.345
6月	60,769	4.5	42,963	0.8	0.71	0.814	1.342
7月	60,929	5.1	43,008	0.9	0.71	0.811	1.341
8月	60,804	4.8	43,092	1.1	0.71	0.807	1.339
9月	60,532	4.8	43,305	0.9	0.72	0.808	1.336
10月	60,544	4.2	43,190	0.6	0.71	0.805	1.337
11月	60,547	3.9	43,292	1.5	0.72	0.804	1.333
12月	60,609	3.9	43,443	0.6	0.72	0.802	1.332
R5.1月	60,153	3.2	43,460	1.6	0.72	0.800	1.331
2月	60,217	3.4	43,643	1.9	0.72	0.800	1.328
3月	60,834	3.6	43,907	1.9	0.72	0.803	1.324

※1: 実質預金に対する貸出金の割合。この比率は、県企画部企画調整課で算出したものである。

⑦ 関係機関による景況調査等

- ・ 短期経済観測調査(日本銀行那覇支店)では、令和5年1月－3月期の業況判断DIはプラス24となり、3期連続のプラスとなった。また、令和5年4月－6月期の業況についてもプラスの見通しとしている。雇用人員判断については、現状・見通しともに「不足」超が拡大している。
- ・ 法人企業景気予測調査(沖縄総合事務局)では、令和5年1月－3月期の景況判断を「現状判断は「上昇」超幅が縮小、先行きは「上昇」と「下降」の均衡となった後、「上昇」超となる見通し」としている。雇用では「現状判断は「不足気味」超幅が縮小、先行きは「不足気味」超で推移する見通し」としている。
- ・ 県内企業業況調査(沖縄振興開発金融公庫)では、令和5年1月－3月期の業況判断を「当期は「好転」超幅がほぼ横這いとなり、4期連続のプラス、来期は「好転」超幅がやや拡大の見通し」としている。雇用判断では「当期は「不足」超幅がやや拡大、来期は「不足」超幅がやや縮小の見通し」としている。

※ 各調査は、調査対象や内容等が異なるため、調査結果の比較に注意を要する。

※ DI及びBSIは、回答の構成割合の差と定義される。例えば景況DIは、「良い」の回答割合から「悪い」の回答割合を差し引いたものである。

※ 法人企業景気予測調査はBSIを用いている。

	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店) 業況判断DI	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局) 景況判断BSI	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫) 業況判断DI
R4. 1-3	△19	△16.8	△21.3
4-6	△4	10.2	4.0
7-9	12	11.7	16.7
10-12	22	11.0	18.8
R5. 1-3 (※1)	24 (16)	8.3 (6.4)	20.2 (20.9)
次期見通し	25	0.0	22.9

※1: 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店) 雇用判断DI	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局) 雇用判断BSI※1	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫) 雇用判断DI※1
R4. 1-3	△24	△15.5	△28.5
4-6	△32	△25.2	△35.1
7-9	△42	△35.0	△40.9
10-12	△48	△43.9	△47.3
R5. 1-3 (※2)	△52 (△47)	△35.7 (△30.6)	△51.8 (△49.7)
次期見通し	△54	△27.6	△49.7

※1: 法人企業景気予測調査と県内企業景況調査の原資料においては、(不足－過剰)をDI・BSIと定義しているが、本資料では短期経済観測調査の表記に合わせて、符号を反転し、全て(過剰－不足)のDI・BSIとして掲載している。

※2: 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

＜参考＞関係機関による景況判断

	内閣府 (月例経済報告: 全国)	内閣府 (地域経済動向)	沖縄総合事務局	沖縄振興開発 金融公庫	日銀那覇支店	りゅうぎん総研	おきぎん総研	海邦総研	沖縄県
公表 R4/6 (指標5月)	景気は、持ち直しの動きがみられる。	沖縄地域では、景気は持ち直しの動きがみられる。			県内景気は、厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。	景気は、持ち直しの動きがみられる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる。		景気は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全体としては低迷しているが、一部に持ち直しの動きが見られる。
公表 R4/7 (指標6月)	景気は、緩やかに持ち直している。		管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。	県内景況は、持ち直しの動きがみられる。	県内景気は、厳しい状況にあるが、持ち直している。	景気は、持ち直しの動きがみられる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。	県内景気は緩やかに回復している。	
公表 R4/8 (指標7月)	景気は、緩やかに持ち直している。				県内景気は、厳しい状況にあるが、持ち直している。	景気は、持ち直しの動きが強まる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。		
公表 R4/9 (指標8月)	景気は、緩やかに持ち直している。	沖縄地域では、景気は緩やかに持ち直している。			県内景気は、厳しい状況にあるが、持ち直している。	景気は、持ち直しの動きが強まる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。		景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。
公表 R4/10 (指標9月)	景気は、緩やかに持ち直している。		管内経済は、緩やかに持ち直している。	県内景況は、持ち直しの動きが広がる。	県内景気は、持ち直している。	景気は、持ち直しの動きが強まる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、緩やかに持ち直している。	県内景気は緩やかに回復している。	
公表 R4/11 (指標10月)	景気は、緩やかに持ち直している。	沖縄地域では、景気は緩やかに持ち直している。			県内景気は、持ち直している。	景気は、回復の動きがみられる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、持ち直しつつある。		
公表 R4/12 (指標11月)	景気は、緩やかに持ち直している。				県内景気は、持ち直している。	景気は、回復の動きがみられる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、持ち直しつつある。		景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、緩やかに持ち直している。
公表 R5/1 (指標12月)	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。		管内経済は、持ち直している。	県内景況は、回復の動きがある。	県内景気は、持ち直している。	景気は、緩やかに回復している。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、持ち直しつつある。	県内景気は緩やかに回復している。	
公表 R5/2 (指標1月)	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。				県内景気は、持ち直している。	景気は、緩やかに回復している。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、持ち直しつつある。		
公表 R5/3 (指標2月)	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。	沖縄地域では、景気は緩やかに持ち直している。			県内景気は、持ち直している。	景気は、緩やかに回復している。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、持ち直しつつある。		景気は、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、持ち直している。
公表 R5/4 (指標3月)	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。		管内経済は、持ち直している。	県内景況は、回復の動きが広がる。	県内景気は、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、着実に回復しつつある。	県内景気は緩やかに回復している。	
公表 R5/5 (指標4月)	景気は、緩やかに回復している。	沖縄地域では、景気は回復している。			県内景気は、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、着実に回復しつつある。		
公表時期	毎月	おおむね3ヶ月毎	3ヶ月毎	3ヶ月毎	毎月	毎月	毎月	3ヶ月毎	3ヶ月毎

注1: 内閣府(月例経済報告)においては、公表月の2ヶ月前の指標に加え、公表日までに得られた指標等も併せて判断している。

注2: 内閣府(地域経済動向)においては、公表月の前月までの指標等も併せて判断している。

注3: 沖縄総合事務局においては、前回判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

注4: 日銀那覇支店においては、概ね公表の前営業日までに入手可能な経済指標(特に明記がない場合、前々月分)や情報を用いて判断している。

出 典 一 覧

項 目	出 典
①観光 入域観光客数 主要ホテル客室稼働率 観光施設入場者数	沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課 日本銀行那覇支店 (株)りゅうぎん総合研究所
②個人消費 百貨店・スーパー販売額 コンビニ販売額 家電製品販売額 自動車販売 家計消費支出(二人以上の世帯)	経済産業省 日本銀行那覇支店 経済産業省 沖縄県自動車販売協会 沖縄県企画部統計課
③建設関係 住宅着工 非居住建築物 公共工事保証請負額 建設資材価格指数	国土交通省 国土交通省 西日本建設業保証(株) (一財)経済調査会
④雇用情勢 労働力調査 (労働力人口、就業者数、完全失業者数、完全失業率) 労働市場の動き (求職者数、求人数、有効求人倍率、正社員有効求人倍率) 現金給与総額指数	沖縄県企画部統計課 厚生労働省沖縄労働局 沖縄県企画部統計課
⑤物価 消費者物価指数 レギュラーガソリン小売価格	沖縄県企画部統計課 経済産業省資源エネルギー庁
⑥金融 預金・貸出金残高(県内6行庫計) 地方銀行・約定平均金利(全国) 地元3行貸出約定平均金利(沖縄)	日本銀行 日本銀行 日本銀行那覇支店
⑦関係機関における景況調査等 県内企業短期経済観測調査 法人企業景気予測調査 県内企業景況調査	日本銀行那覇支店 沖縄総合事務局財務部 沖縄振興開発金融公庫
⑧その他 鉱工業指数 企業倒産 沖縄地区税関貿易額 全国の経済成長率等	沖縄県企画部統計課 (株)東京商工リサーチ 財務省沖縄地区税関 内閣府